



### NHK 日曜討論で言えなかったこと

「2人に1人」の時代「がんとどう生きる」というテーマのNHK日曜討論に登壇させて頂きました。限られた時間、生放送という緊張感の中、心の中では、このテーマを前に私に与えられた役割を考えていました。なぜ、私がここにいるのかは、現場で悩み苦しむ人と関わり続けてきた生の声を、医師の立場で届けるためだと感じました。

現役世代の患者さんを何人も担当してきました。闘い続けたい。緩和ケアという言葉は聞きたくない。病状を認めようとせず、1つ1つの自分を失っていく現実に怒りをぶつけてくる人を担当してきました。

現場は決してきれいな話ではありません。どんな言葉もむなしく響くことがあります。たとえどんなに優秀な治す技術を持った医師であったとしても、死を前にした人の前では無力です。時間を過去に戻すことはできません。失ったものを回復することもできません。力になりたいくても、力になれず、苦しむことがあります。それでも、逃げないで関わり続けたい。唯一、できることは、苦しむ人とともに苦しむこと。この現場でこだわってきたことは、苦しんでいる人は、自分の苦しみをわかってくれる人がいると嬉しいということでした。

苦しんでいる人は、誰にでも自分の苦しみを言うのではありません。相手を選びます。わかってくれそうでない人には、苦しみを自ら話すことは少ないでしょう。どんな人がわかってくれるのか？それは聴いてくれる人。聴くことの大切さは、多くの人が知っています。しかし、多くの人は、自分が知りたいことを聞いています。それは、わかってくれる聴き方ではありません。援助的コミュニケーションを学び、実践し、そしてわかってくれる人になるための聴き方を伝えて来ました。今では「いのちの授業プロジェクト」として、子ども達にも伝える活動に発展しています。

「自分が病気になったことで、迷惑をかけてしまうのではないか」「迷惑をかけししまう自分が嫌いになる」

「自分が誰からも必要とされていないのではないかと苦しくなる」このような人が、これからの時代、増えるのではないかと案じています。たとえ仕事が十分にできなくても、たとえ迷惑をかけてしまっても自分の居場所があり、自分のことを、これでよいと認めることができればよい。しかし、ただ自分が開き直って「これで良い」というのではありません。自分の良いことも、そうではないことも丸ごと認めてくれる誰かとのつながりが必要です。

果たして私たちは、自分の存在をまるごと認めてくれる誰かとのつながりを持っているのでしょうか？家族や友人や職場の仲間がいればよいですね。その誰かと

は、目に見える存在とは限りません。たとえ苦しくても目に見えない伴走者に気づく人は幸いです。

これからの時代、地域で苦しむ人が増えてきます。その人に温かな手をさしのべてくれる担い手が必要です。誰かを批判していても、良い社会になるとは限りません。であれば、一人でも志のある仲間を増やしていく方が賢明だと私は思います。目の前で誰かが苦しんでいたら、私たちにできることがあることを、広く伝えていきたいと思います。それがエンドオブライフ・ケア協会の活動であり、いのちの授業プロジェクトです。よければ、一緒に活動しませんか？私たちの住む地域が、よりよい地域であるために。子ども達が、安心して生きていくことができる社会であるために、私たちにできることがあります。

あらためて貴重な機会を頂きました関係者の皆さまに感謝します。特に驚くことは、この放送の企画が、NHK報道局政治番組であることです。そのため、渋谷のスタジオではなく、千代田放送会館というスペシャルな場で話し合えたことは、奇跡としか思えません。先日のエンドオブライフ・ケア協会の4周年のシンポジウムや電通さん企画の映像撮影などもあわせて、やはり、人生のすべてのツキを使い果たした感じがしてなりません。これからどうなっていくのか。あとは下がるのみだったらどうしよう。もっと謙虚に生きていかなくてはと言いつつも聞かせています。 小澤竹俊

### 診療部スタッフ(看護師・訪問診療サポーター)募集

めぐみ在宅クリニックでは、訪問診療の支援にあたるスタッフを若干名募集します。もし、めぐみ在宅クリニックの理念に賛同され、地域で苦しむ人に力になりたいと思う人がおりましたら、一緒に活動しませんか。お待ちしております。

### 診療実績

	2006- 2018年	2019年 1月	2月	3月	4月	2019年 計	総計
訪問回数	70,753	880	583	897	978	3,338	74,091
自宅永眠	2,252	21	17	26	21	85	2,337
施設永眠	349	4	3	6	8	21	370
在宅 (自宅+施設)	2,601	25	20	32	29	106	2,707
病院永眠	711	14	5	7	8	34	745